

タイのナコンラチャシーマー・ラチャパット大学のみなさんが来校しました

こんにちは。6月30日から7月6日の日程で、タイのナコンラチャシーマー・ラチャパット大学看護学部から9名のみなさん（学生7名、教員2名）が来校しました。



初日は成田空港までお迎えに行きました。
昨年度タイに行った際に仲良くなった学生もいて、感動の再会となりました！
オープニングセレモニーは和やかな雰囲気で行われ、それぞれ記念品の交換をしました。



滞在中は、池田キャンパス・飯田キャンパスそれぞれの学内見学や看護学部
の演習への参加など、学内での交流からプログラムがスタートしました。



学生自治会・後援会主催の歓迎会の様子です。

今回のために覚えた日本語で挨拶をしてくれました。

ちょうど七夕だったので、学内にある笹に短冊の願い事を書きました。



学内演習の様子です。小児看護学援助論、母性看護援助論の演習に参加しました。

この日のメニューは、沐浴、出産後のお母さんのケア、喘息で緊急入院したお子さんの対応についてでした。

先生方、ありがとうございました！

県内のさまざまな病院や介護・福祉施設、緩和ケア病床をもつクリニック等の施設見学をさせていただきました。



まずは、山梨県立中央病院へ。
病院視察では各部署の見学に加え、災害派遣看護師からの貴重な活動報告を聞く場を設けて頂きました。看護部、各病棟の皆様には、国際交流への高い関心を持っていただき、受け入れプログラム作成からご協力いただきました。
お忙しい中、ありがとうございました。





在宅生活を支える複合型センター（共立介護福祉センターいけだ）の見学をさせて頂きました。複雑だけどきめ細かい日本の保健福祉を楽しくPRして頂きました。



お昼に立ち寄った「よかよカフェ」さん（ライフサポートひかり）では、タイからの来日を伝えると、yoca yoca（共生型デイサービス）さんの見学を急遽ご提案してくださいました！感謝です。

どちペインクリニック玉穂ふれあい診療所では、院長から「いのち」の講義のあと、スタッフの皆さん、患者さんとのあたたかい触れあいの時間を取っていただきました。みなさんの笑顔が素晴らしかったです。





山梨赤十字病院にも見学に行きました。タイの学生さんだけでなく本学の留学生（看護学部以外の学生）も見学させて頂きました。手術などの急性期から地域・在宅まで支える医療を丸ごと見学でき、普段なかなか見る機会のない分野の見学に見識を深めていました。

短い期間でしたが、看護演習の体験や山梨の医療・看護の現場視察を通して交流を深めると同時に、看護の心は国境を超えることを実感した7日間でした。

出発の日、朝 4:30 にお見送りです。



タイ NRRU との交流は「行く・来る」を1年ごとに行っています。来年の夏は、タイに行きます！